

## カリキュラムデザイン

専門課程看護科においては、社会人基礎力の考え方を基盤に看護職の育成を目的とする。そのため、基礎分野・専門基礎分野では、人権を尊重できる態度を養う分野、特に人間関係の成立・発展させるために自己理解・他者理解を深める能力は基礎分野から育てる。また、准看護師教育で得た知識のうえに統合的なアセスメントを加えた科学的思考を育てるための科目と時間を設定した。

精神看護学では、基礎看護学をふまえてライフサイクルにおける精神保健や、病む人の心について学ばせることで、各領域別のベースになると考え位置づけした。また、看護師としてのメンタルヘルスなどについても学ばせ、看護職として安定した自己の形成が必要であると考えた。

統合分野・在宅看護論ではすべての領域を包括し、これまでの知識を統合させ、病いや障害をもちながらもその人がその人らしく地域で生活することができるために、各職種が連携・協働することの意味や、そのなかでの看護師の役割などを学ばせたい。そして、さらに人が人として社会のなかで生活しているということの原点についても考えさせたい。

統合分野・看護の統合と実践では、これまで学んだ知識や技術を再確認しながら統合させ、看護業務の特性でもある多重課題への判断をどのようにしていくのか、リーダーシップのあり方についても学ぶことができるようにカリキュラムを構築した。

